

マスクと授業

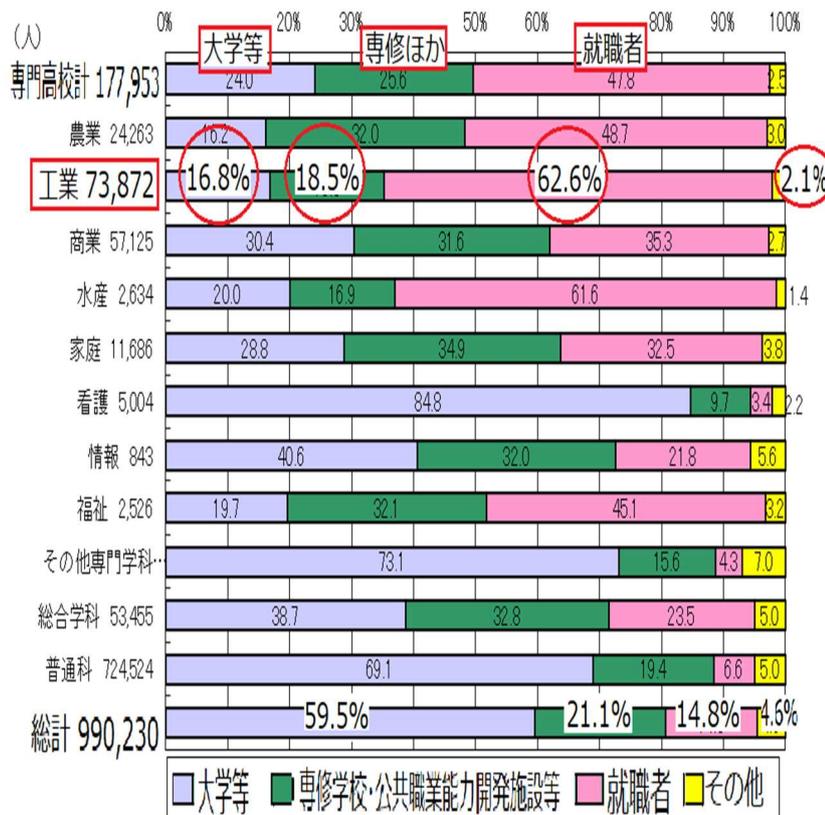


新型コロナ対策としてのマスクの着用について、政府より 3月13日からは、屋内・屋外を問わず個人の判断に委ねるとされて2か月を過ぎ各クラスでのマスク着用率も様々なようですが 生徒の皆さんは学校でどのような毎日を送っているのでしょうか。

あるクラスの着用率は40%弱でしたが、別なクラスでは約90%でした。クラスごとに雰囲気の違いがあるのかもしれません。どちらかというとも1年生のクラスのマスク着用率が高いように見受けられます。一方 授業をする私たちもその対応はそれぞれです。マスクをはずすと声の張りや表情で生徒の皆さんに届く授業内容や熱意がさらに増幅されるような気持ちがあります。

まもなく梅雨の季節を迎えますが 就職や進学、これからさらに勉強の積み重ねが大切な時期になりますので 体調を整えて第一志望を目指して頑張りましょう。

高等学校卒業生の学科別進路状況(令和4年3月卒)



文部科学省公表の令和4年3月卒業の進路統計によると工業系の卒業生人数は全国で73,872人で内訳は 大学等への進学が16.8%、専修学校・公共職業能力開発施設等への進学が18.5%、就職者が62.6%、その他が2.1%となっています。

さらに工業系は、他の専門高校と比較して 卒業生人数も、またその中での就職者の割合も高くなっています。

一方 進学率は大学等16.8% 専修学校ほか18.5% 合計で35.3%となっています。

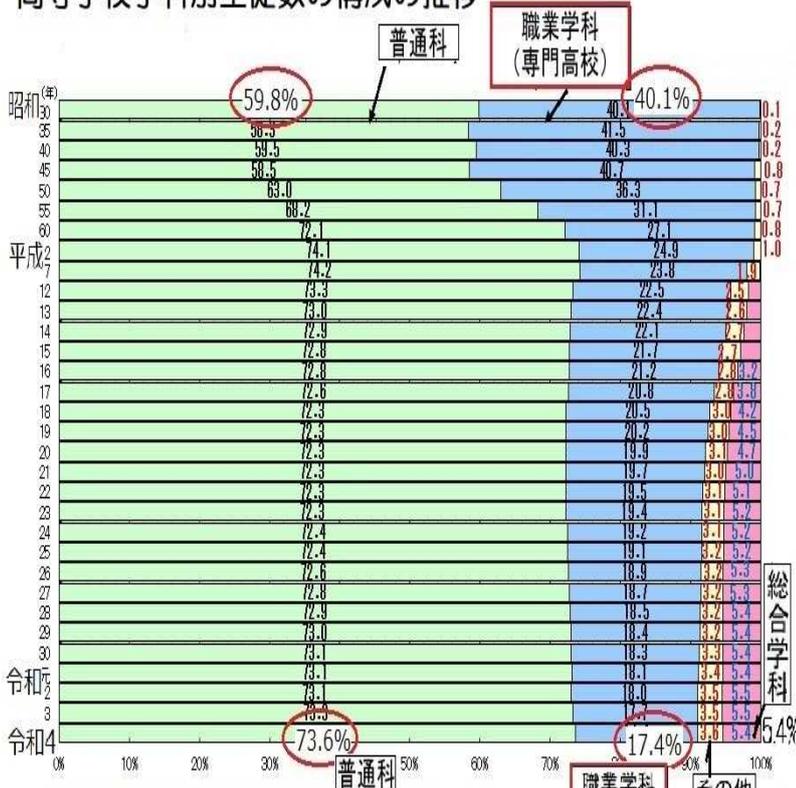
本校でも令和5年3月末現在、卒業生全体の就職者数は65.7% (県内企業78人、県外企業131人)、

一方 進学率は34.0%(大学・短大・専修学校等に120人)となっています。

文部科学省「令和4年度学校基本統計(学校基本調査報告書)」より

※就職者は就職進学者は含まない。就職者は自営業主等及び常用労働者(無期雇用労働者有期雇用労働者)

高等学校学科別生徒数の構成の推移



文部科学省「令和4年度学校基本統計（学校基本調査報告書）」より

※「総合学科」は平成6年度より制度化「その他の専門学科」には 理数 体育 音楽 美術 外国語 国際関係等の学科がある。

文部科学省の高等学校学科別生徒数の構成の推移図をみると高度経済成長期の昭和30～48年が専門高校の職業学科の割合が全体の約40%を占めています。

年号が平成に入りその他の専門と総合学科の割合が増加する頃から専門高校（職業学科）の占める割合が徐々に20%前後まで減少し続けているのがわかります。

令和4年にはその割合が17.4%まで減少しており日本の人口が減少し続けていることも加味すると職業学科（専門高校）卒業生数の減少はこの表より大きなものと考えられます。

言いかえると専門高校卒業生はますます貴重な存在と言えるのです。



本校での令和5年3月卒業生の進路状況も 学校紹介での就職決定率は100%です。

ただし 必ずしも全員が第一志望の企業に就職できた訳ではありません。せっかく考え抜いて決めた第一志望でもその夢が叶わなかった生徒が約1割相当存在するのです。

また進学についてはその大半が(指定校)学校推薦型選抜・総合型選抜で受験します。したがって「評定平均値」を上げること、欠席しないように体調管理をしっかりすること、志望校の入試形態についての研究をして早めの対策をすること等が必要です。

生徒の進路心得

- ① 自己理解（自分のことをよく知る）を深める。（成績・性格・適性・興味・関心・健康状況等）
- ② 学力の向上に努める。（計画を立てて実行し、入社試験・入学試験に備える）
- ③ 基本的な 読み、書き、算数（計算）の力を高める。（作文・小論文・入社試験等で試される）
- ④ 資格取得に励む。（仕事に必要な専門的な知識や資格）
- ⑤ 新聞を毎日読む。（面接で質問されたり 一般常識・作文・小論文に出題されたりしている）
- ⑥ 読書をする。（ただ知識が高まるだけでなく、発想力がつき 脳の活性化などの効果がある）
- ⑦ 明るく元気に、はっきりとした口調で、気持ちのよい挨拶ができるようにする。
- ⑧ 日頃から言葉遣い、服装身なり、礼儀作法をきちんと身につけておく。
- ⑨ 職業観の育成（働くとはどういうことか）に努める。意欲・創造性を持つことが必要。
- ⑩ 規則正しい生活とハウレンソウ（報告・連絡・相談）の習慣化に努める。

（遅刻・欠席の多い人は要注意・・・合否への影響が大きい）

●生徒の皆さんは 上記「生徒の進路心得」を胸に 第一志望合格に向けて努力を重ねましょう。